

# むさし野

No.50

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方  
電話・FAX 049-225-2466  
E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp  
ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

## 人生の節目の思い出になりました

宮川 幸佳 (富士見市)

新年明けましておめでとうございます。

今年は会報「むさし野」が50号が発行され、むさし野会にとって節目である記念の年になります。

そして私の人生においても、今年の4月に丁度50歳になり、年始から職場も変わり、人生の節目に当たる年となります。

私は日本を代表する、日本考古学協会に所属を許された考古学者です。法政大学在学中から志木市で発掘調査の仕事に携わってまいりました。

発掘調査の仕事は職人芸で、師から弟子へと伝える仕事です。師と仰いだ方の急逝により、志木市を退職せざるを得ず、他に条件の合う発掘調査の求人は見つからず他の職に就いておりました。しかし今年からまた、発掘調査の仕事に戻れる事になりました。

今度は民間の発掘会社ですから、埼玉県だけではなく、東京都の遺跡も発掘するので楽しみです。

実は私に転職する力を与えてくれたのは、趣味で習っていた茶道の力とむさし野会の力だったのです。

茶道は19歳の時に富士短期大学の授業で習ったのが始まりです。そのあとしばらく休んでまた再開したのは、茶道には考古学的魅力が満載だったからです。

炉は縄文時代の縦穴式住居を思わせ、素焼きの茶碗は土器に見え、稽古中には兄弟子の明治大学の人類学准教授である、蛭川立氏と5000年のスパンで歴史を語っていました。

しかし今年は体調が優れず、春ごろから稽古を休んでおりました。そんな中に石井会長からむさし野会の平林寺茶会の話が来て、また稽古を再開しました。

その平成26年11月の平林寺睡足軒のむさし野会の茶



睡足軒(新座市)でのお茶会

会は私にとって人生のターニングポイントになりました(6ページに関連記事)。

自分が亭主で茶会でお点前をして、抹茶や菓子や道具、会記も自分で用意したのは初めてでした。師範の免状をもつ姉弟子達の誰もやったことがない程の、お茶の世界における大きな事業を、未熟ながらも成し遂げる事が出来ました。

そのお陰でしょうか、体力、気力が回復し健康も取り戻したことで、また発掘調査の仕事に戻る勇気と自信がつかえました。

転職活動もスムーズでトントン拍子で決まりました。運が向いてきたのも、自分だけの力ではなく、むさし野会の皆様、茶道の師や姉兄弟子達と、身近な人達のお陰です。

これからもむさし野会の活動に参加させて頂く事により、自分自身も成長して行きます。今年もよろしくお願い申し上げます。

## 「むさし野」50号に寄せて

「法政むさし野会」は今年度13年目になります。発足時は「オレンジ校友会・埼玉県支部」でした。「法政むさし野会」と改名してからも、会員のつながりは変わることなく、現在まで運営を続けることができました。皆様に感謝です。また、この会報「むさし野」も今号で50号を数えることになりました。これを記念して、会員の皆様に寄せ書きをお願いしましたところ、たくさんの投稿をいただきました。以下に掲載いたします。順不同で、見出し・氏名・出身学部学科・現在住所・本文一の順になります。  
(役員一同)

### おめでとうございます！

加賀谷 恵子

(文学部史学科・三郷市)

「むさし野」50号発行おめでとうございます。会長を始め役員の方々のご尽力の賜と感じ入っております。入会してまだ3年目ですが、行事などに積極的に参加させて頂き、皆様からたくさんの刺激を受け、楽しい時間をもちたいと思っています。会がこれからもますます活躍されますことを、ご祈願申し上げます。

### 小春日和

鳥海 美智子

(文学部日本文学科・さいたま市)

雲ひとつない青空、武蔵浦和から続く遊歩道は燃えるような桜紅葉で、私は贅沢にその道を散歩していると見知らぬ女性に声をかけられ、その方の俳句や短歌の話を聞きました。

お年を伺うと91歳との事その記憶力に驚きました。私が生まれた年に女学校を卒業なさっていて女学生のように語り合いました。

### 少量摂取の知恵「塩分、糖分」

飯田 桂子

(文学部日本文学科・小平市)

出汁に一人当たり10gの味噌でおいしい味噌汁をいただき塩分も少なく吸収されます。

果物の量の気配りで糖分の吸収が少なくなり、血糖値が下がります。例えば240gの柿一個を6分の2つまりは80gを朝、夕食べても糖分摂取は安心。他のフルーツでも量だけ守ればOK。

### 自治会活動で思うこと

中野 次雄

(文学部史学科・川越市)

かつて町づくりの中心だった若者たちもいまや高齢者となり、我が自治会も長寿社会となりました。核家族化が進み、その結果として高齢者夫婦一人暮らし高齢者が多くなりました。災害時における安全確保、平常時の見守り支援活動、そして日々飛び込む問題に奮闘しております。法政で学んだことを地域のオピニオンリーダーとして、老化した社会ではなく、活力ある長寿社会に向かってがんばっております。

### 私の住んでる地域について

田中 照貢

(法学部法律学科・飯能市)

私の住んでる地域は西武池袋線から法政大学のある飯田橋、市ヶ谷まで直通一本でいくことができます。法政大学をはじめ都心にいくのには意外に便利で、多少時間はかかるものの、田舎で電車がすいていることもあり、結構気楽に都心の方での検定試験の受験などができます。その代わりに、埼玉県内の仕事などは大変で、活動する場所によっては4時に起きて出張にいったことがあります。

### ポストイナ鍾乳洞

尾辻 紀子

(文学部日本文学科・川口市)

8月にスロヴェニアに旅行した。緑の森林の中に建つ赤い屋根の三階建ての旧市街。中世の町並みが保存されている。町を抜け農村に入ると広々とした草原に牛が放し飼いにされていた。麦わらを積みあげて並べてある。

昭和時代の日本の農村を思い出す。

ポストイナ鍾乳洞に見学に入った。見上げると様々な形をしたつららが無数に下がっていた。自然が作り出した造形美に魅了された。

## 草加市の災害ボランティアに参加して 押切 次夫

(法学部法律学科・草加市)

平成26年9月18日(木)～19(金)に社会福祉法人草加市社会福祉協議会のボランティアバスツアーに参加しました。活動場所は宮城県本吉郡南三陸町で活動内容は瓦礫撤去で参加者は26名でした。23時に草加市役所を出発して南三陸町の災害ボランティアセンターに7時に到着しました。ボランティア活動は9時～15時30分で復旧していない田畑の瓦礫の撤去と石拾いでした。高台の砂をまいていたためガラスなどはなく大きな石の撤去の作業でおわりました。

長崎大学の学生や高校生もボランティアに来ていました。東日本大震災から3年経ちますがまだまだ個人所有の田畑などは復旧していない状態です、今回初めてのボランティア参加でまだまだ詳しいことはわかりませんが、またチャンスがありましたらボランティアに参加したいと思います。

## 旧友を偲ぶ 宇佐美 善夫

(法学部法律学科・朝霞市)

法学部法律学科をともに学んだ旧友を紹介致します。北海道江差追分の出身で、小学校一年に入学したときは、父母はすでに死亡していた。したがって両親の顔、姿を思い出せなかった。母の兄のところに預けられたがその境遇は、テレビで放映された「おしん」と同様か若しくはそれ以下の環境であった。高校卒業後、昭和28年4月法政大学法学部に入学する。三年後に司法試験に合格する。弁護士として活躍する。六角会の代表者となり三年前に死亡。旧友能登文雄弁護士。六角会は校舎の名前。

## 傘寿を前に 矢田 義徳

(経済学部商業学科・朝霞市)

間もなく傘寿(80歳)を迎える。介護を必要とせず、自立した生活ができる生存を願っている。今のところ、何とか健康を維持しているものの、体力と五感の衰えは進行している。健康管理に加えて、老境をどう価値的に過ごすかが課題だ。「老化の予防」には、「人と話す」といったコミュニケーションが欠かせない。本会はもとよ

り、校友会行事への参加はその好い機会。可能な限り関わっていききたい。

## 「会報50号」おめでとうございます 田邊 洋子

(文学部日本文学科・川口市)

2011年卒業以来、参加させていただいております。多彩な講演会、見学会、個性的な仕事や趣味を持った会員。何よりも皆様の旺盛で真摯な向学心に刺激を受けます。また愚昧な質問にも答えていただき、誠実な行き方に触れたようで頼もしい先輩たちです。最後に役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今後も「自由と進取の気象」(建学理念)を掲げて更なる発展を。

## 夏山での夜のミステリー 鹿野 幸作

(経済学部商学科・千葉市)

若い頃、穂高岳や谷川岳、そして東北の名だたる山、とりわけ智恵子抄で有名な安達太良山には20回程登った。夜、テントの中でしじまを渡る風の音が潮騒のように聞こえ、浅い眠りの中で、夜が開ける頃、登山靴の足音がこちらに向かって来た。足音が近くで止まったので外を見るとそこには人の気配はなくただ風だけが吹いていた。幻聴か。

## むさし野会報50号で思うこと 大川 成一

(経済学部経済学科・草加市)

会報の発行が50号になる。まさに慶事だ。当初からの会員である喜びと、会員間での交流ができることに感謝している。会計報告や、時々ではあるが自分の投稿の紙面は、忘れられない。講演会の報告なども興味深い。今後も、自分なりに「静かな情熱」で会に寄与したい。

## 法政おおわが母校

大野 正雄

(法学部法律学科・川口市)

多感な青春時代を同じ学び舎で過ごしたことは大きな縁であり、同窓生同士は親近感が芽生えます。卒業生の社会のあらゆる分野での活躍が母校つまり校格になると考えます。個人としての文武両道も望ましいことですが、大学としても文のレベルアップと共に武のスポーツのレベルアップも強くあってもらいたい。母校のスポーツは最近弱体化しており残念です。そんな思いの母校がスーパーグローバル大学37校の1校になり、国によるグローバル化大学に認定された訳です。喜ばしいことです。母校の益々の発展を願ってやみません。

## 古時計

横井 時弘

(法学部法律学科・東京都中央区)

最近骨董品に興味を覚え、結構散財している。中でも最たるものは、ボンボン時計である。戦前のもので、なかなかしっかり出来ている。三日に一度はゼンマイをまかなくてはならない。これが又いい。音のなりがおかしいと思い、時計屋さんを持ち込んだら近年こういうものを直す職人が少なくなり、首をかしげていたが快く引き受けていただき、1ヵ月ほどかかったが治ってきた。時を刻む音、精神衛生上よいものである。

## 自分の時間を大切に

筑井 信明

(文学部地理学科・朝霞市)

最近、江戸風景浮世絵に関心を持っている。ことに不思議な郷愁が漂う広重の絵が好きで、写真など別の趣味も加えた「浮世絵散歩」を定期的で開催している。そのために、舞台となる場所の地理や文化背景などを調べ始めると関連して古典全般に関する興味も深まり、奥行きは深く、楽しい。学術は少年の心を養い、成年の心を見たとす—これは講談社学術文庫の刊行の言葉。ともすれば、空にすぎしてしまう自分の時間を精一杯大切にしたい。

## 元気になれます

桃木 良子

(文学部日本文学科・さいたま市)

むさし野会の会合に出かけますと元気になれます。息子娘位の年の方達に会えますから。どなたも社会的地位をお持ちで尊敬しております。私宅は自営で三人の子育てで過ぎ、何かを考えず残念でした、60歳で夫は会社をゆずってしまったので海外14、5回は行けたでしょうか。知らぬ間に年を重ねてしまい、今は国内の旅行もゆっくりものに限られます。ですから私は現在の体調を続けられるように生活できたらと願っております。

## ハーマニー

榊原 洋子

(日本文学部日本文学科・北本市)

社会の進歩によって価値観が変化していく中で生活することは大変難しいと思われれます。そんな中、法政大学で学んだ事は私の精神の礎になっています。子育てを終えた今、私自身の自由な時間を時代・人・物と丁寧に関わって生活していき、積み重ねてきた事柄を同世代・次世代の人達に伝えていけるように努力することが私の大切な役目と考えています。

## 通年スクーリング夜

土岐 真

(経済学部商業学科・東京都港区)

法政通教の在学期間(1993～1998)中、ほぼ同期間通年スクーリング夜許可者(当時、Ⅱ部＝夜間部の授業に出て取得単位を通教の単位と認定する制度があり、他大学編入者として合格。)で、今でも行き来の有る友達、通教とⅡ部で半々です。長くいましたが・・・後半は教職を取ったり、通教区選出で法政大生協の総代を頼まれたりで、毎日の仕事との両立が大変でした。今は他大学でも諸々と両立の上、まだ社会人学生をやっております。

## 祝50号

吉田 登美子

(文学部日本文学科・越谷市)

「むさし野」第一回発行についてはタイトルを手書きでという事になり、縦と横書きの物を拙い毛筆で書きました。第一回からの暫くの間使われました。発足時には大学の卒業名簿を何人かで手分けし、己の担当地区の人々に電話でこの会の主旨を説明してからそれぞれに郵送した事など懐かしく思い出しました。これまでの石井会長のご努力は勿論ですが、内田前会長もさぞかしお喜びの事と思います。

## 転機

小林 薫

(経済学部経済学科・上里町)

五十五歳の時に出会った魔法の水《電解水》です。この出会いが、後に開発発明した工業洗浄廃液油分除去フィルターを搭載した『部品洗浄装置』『ドレン水浄化装置』に繋がった。工業高校時代に友人と特許を取りたい、新聞に載りたいという夢が、魔法の水との出会いから数年後の現実的なものとなり、特許二件、新聞に三回掲載。諦めずに、夢を持ち続ければ夢は叶うことを知りました。魔法の水有難う。

## 自分を信じること

宮川 幸佳

(文学部史学科・富士見市)

最近自分を信じることができずにいたように思います。でも瞑想の先生に「自分を卑下することは自分の中にいる神を貶めること」と言われたのを思い出したり、またある人に「出すぎた杭は打たれない」とも言って頂いたりしたことで、自信を取り戻しました。また、法政むさし野会の平林寺睡足軒茶会をやり遂げた事も、自信につながりました。人は何かひとつのことをやり遂げると自信がつくものと知りました。私はこれからも自分を信じ、好きなことをして生きていきます。

## 50号記念に寄せて

石井 満

(文学部史学科・川越市)

随分社会勉強をさせて頂いたという一言です。得ての気の合う仲間や知人ですと、どうしても人間関係の広がりには限りがあります。その点当会は様々な職種・経験・価値観が披露されます。先日行われた第27回勉強会は、母校法政大学の同窓会に相応しい多岐にわたる話題と成熟した会の雰囲気がありました。女性が多い事も一つの特徴です。平和を享受しながら会でのおしゃべりを楽しみたいと思っています。

## ◆当会で講演を戴いた方

齋藤 仁 氏 (元埼玉県北本市立北本中学校長)

眼前に広がる人生の長さに戸惑う少年期、社会・家庭の喜怒哀楽に逐われる壮年期、余命幾許の言い状で惰眠を貪りながら齢を重ねる老年期。人生の価値は世代によって逆転する。であれば嘗ての賢者も電話一つで詐欺に遭う。騙されたのではなく騙されてもいいと思った事なら人間の闇は深い。言葉と映像で大衆を操るメディアを離れて人間の魂と対峙しなければ人生の真理は見えて来ない。観察と思考からの第三の学びは如何でしょうか。

## ◆法政大学関係から

清水 靖夫 氏

「むさし野」50号、おめでとうございます。我が母校、法政には学部と大学院とで13年在学し、大いに学割運賃を利用しました。大学院終了後、暫くして非常勤で地理学の教職・教養の地理を30年余り担当させて頂きました。母校での教壇は生き甲斐でもあり楽しみでした。学問に停(定)は年ありません。未だ道半ばというところ。諸兄弟のご多幸をお祈りいたします。

安岡 昭男 氏 (法政大学名誉教授)

「むさし野」の第50号近刊を喜び益々の発展を祈ります。

濱田 裕嗣 氏 (法政大学通信教育部事務部課長)

会報創刊50号おめでとうございます。皆様が法政大学に関られたご縁で、活動を共にされる事を嬉しく思います。会報を読みながら、人生経験の長い方の知見や健康に対する考え方などに触れる場があることは、ひとつの財産であると感じております。今後の皆様のご活躍を祈念いたします。

## 第28回勉強会 小林 薫 会員「技術開発への夢」

### いつもの『意見・近況発表会』も行います

- ・日時 2015年2月15日（日） 13時30分～17時00分（役員は12時30分までにご参集下さい）
- ・場所 武蔵浦和コミュニティセンター・サウスピア8階6号室  
（\* 会場は埼京線の武蔵浦和駅 西口から徒歩2分です）

#### ・内容

##### 第1部 小林薫会員による「技術開発への夢」 13時30分～15時00分

小林さんは、技術者としての長年の研究の中でいくつかの新しい産業技術や新製品の開発に成功しました。その詳しい内容は素人にはわかりませんが、基礎となった考え方や実際に商品化していくまでの経過には教えられることが多いと思います。

##### 第2部 意見・近況発表会（茶話会形式で行います） 15時10分から17時00分

持ち時間一人5分から10分程度で話して下さい。いつものように、ご自分の趣味、思想、最近の政治、身の回り近況、経済見通し、なんでも結構です。分かりやすく話して下さい。出席者全員があなたの話に耳を傾けます。

- ・会費：500円（会場費他）
- ・参加申込：石井まで電話やFAX、Eメールなどで2月6日（金）までお願いします。

（役員会を12時30分より50分程度、勉強会と同じ部屋で行いますので役員の方はご出席願います）

## 秋の散策「平林寺と睡足軒での御点前」(27回勉強会報告)

鳥海美智子（さいたま市）

昨年11月16日、平林寺に集合した会員は男性10名女性7名で、2班に分かれ現地のボランティアガイドさん（新座市ガイドセンター所属）と共に平林寺を散策しました。（写真右）

平林寺は臨済宗妙心寺派の別格本山で、関東における修行道場です。本堂まで一直線に配置された総門・山門・仏殿・中門は県の指定有形文化財ですが、当日は修理中で一直線に見る事が出来ず残念でした。川越藩主松平伊豆守信綱が生活用水を確保するため、玉川上水から分水して開削した野火止用水は志木市に至るまで全長24キロあり、境内にも野火止用水が引かれ平林寺掘りといわれ角錐になって流れていました。

紅葉狩りには未だ早かったのですがガイドさんが新緑



の頃が一番好きとおっしゃたのが印象的でした。

午後からは睡足軒に移動しました。近代茶人の一人と言われた松永安左エ門が飛騨高山の家を移築して「田舎家の茶」として楽しみ平林寺に譲られた茅葺の茶室です（写真左）。早朝より準備下さった宮川さんの御点前で茶室に入り、皆様緊張の面持ちでしたが宮川さんの上手な会話で楽しい茶会となりました。

~~~~~  
<会員住所変更>

吉田登美子：〒343-0828 越谷市レイクタウン8-6-1

ブリリア越谷レイクタウン907

宮川幸佳：〒354-0015 富士見市東みずほ台3-4-21-105



#### ◆あしがき◆

会報「むさし野50号」おめでとうございます。松竹梅は昔から芽出度さの象徴とされ、松は「百木の長」といわれ千代も変わらぬ常磐(ときわ)木(き)で幹と枝とが松の木の勇姿となっています。むさし野会もさらなる継続のため共に支え合っていければと思います。

(榊原)